

平成 30 年 7 月 10 日

保護者 様

京都府立鳥羽高等学校
校 長 山 埜 茂 彦

平成 30 年度 S G H 事業「鳥羽グローバル・サミット」公開授業のお知らせ

初夏の候 保護者の皆様にはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、N U S（シンガポール国立大学）の学生 4 名と上海の復旦大学の学生 2 名が 7 月 11 日（水）から 15 日（日）に鳥羽高校を訪れ、課題研究などの S G H の取組を本校生徒とともにを行います。

つきましては、下記のとおり、鳥羽グローバル・サミットに係る授業を公開いたしますので、ぜひ御参観ください。

なお、事前申込は不要です。

記

1 公開授業一覧

(1) 7 月 12 日(木)

時限	時間帯	科目名	対象	会場
2 時限目	9:50～10:40	グローバル・コミュニケーションⅠ	1 年 7 組	1 棟多目的
3 時間目	10:50～11:40	総合数学	1 年 8 組	
4 時間目	11:50～12:40	総合数学	1 年 7 組	
5 時間目	13:25～14:15	グローバル・コミュニケーションⅡ	2 年 8 組	
7 時間目	15:40～16:30	グローバル・コミュニケーションⅡ	2 年 7 組	

(2) 7 月 13 日(金)

時限	時間帯	科目名	対象	会場
1 時限目	8:50～ 9:40	京都の風土・世界の風土	2 年 7 組	1 棟多目的
2 時間目	9:50～10:40		2 年 8 組	
4 時間目	11:50～12:40	グローバル・コミュニケーションⅠ	1 年 8 組	7 棟多目的
5 時間目	13:25～14:15	イノベーション探究Ⅲ、	3 年	※ 6 会場 にて実施
6 時間目	14:25～15:15	グローバル・コミュニケーションⅢ	6～8 組	

※ 1 棟多目的、1 棟会議室、322 教室、323 教室、324 教室、7 棟多目的

2 授業内容

(1) グローバル・コミュニケーションⅠ

“Deep Kyoto” をテーマとして、英語で京都の伝統・文化を発信

(2) グローバル・コミュニケーションⅡ

海外の大学生と英語ディベートで真剣勝負 テーマ例：難民の受入れ、仮想通貨問題 等

(3) 総合数学

英語と日本語の数学的概念の定義や表記の違いを学習

(4) 京都の風土・世界の風土

歴史都市京都のルーツである平安京が中国長安城をモデルとしたことを学び、今後のグローバルな都市のあり方について考察

(5) イノベーション探究Ⅲ、グローバル・コミュニケーションⅢ

3 年生普通科グローバルコースの 124 名が、研究した世界的課題（難民問題、教育問題等）について海外の大学生とディスカッションを行い、新たな価値を創造し、英語で世界に提言

グローバル課題の解決に向けて鳥羽高生が英語で提言！

平成 30 年度SGH事業 第2回「鳥羽グローバル・サミット」

- SGH2期生の3年生が、3年間取り組んだ課題研究の集大成として、総勢 33 名の海外大学生・留学生と協働したアクティブラーニングをとおして、難民問題や仮想通貨問題など世界的な課題の解決に向けた提言を英語で行います。
- 1・2年生は、海外大学生・留学生に京都の伝統・文化を英語で紹介するとともに、グローバルな課題について英語ディベートを挑みます。
- 14日（土）はシンガポール国立大学、復旦大学の学生と「京の智の再発見」をテーマとしたフィールドワークを京都市内で行い、15日（日）に研究成果を英語でプレゼンテーションします。

■期 間 平成 30 年 7 月 11 日（水）～7 月 15 日（日）

■会 場 京都府立鳥羽高等学校、京都市内（14 日午前・午後）

■海外の大学生・留学生 — 21 の国・地域から総勢 33 名が参加 —
アメリカ、イタリア、インド、インドネシア、カナダ、カメルーン、韓国、
サウジアラビア、シンガポール、スイス、台湾、中国、トルコ、ノルウェー、
パレスチナ、ハンガリー、フランス、ベトナム、ペルー、南アフリカ、
モンゴル

■協 力 京都府国際課（京都府名誉友好大使）、きょうと留学生ハウス

■日 程

	11 日(水)	12 日 (木)	13 日 (金)	14 日 (土)	15 日 (日)
午 前		授業参加①②	授業参加④⑤	KYOTO フィールド ワーク	課題研究 発表会
昼休み		Global Lunch			
午 後		授業参加③	イノベーション探究Ⅲ		
放課後	歓迎式	1 年生ワーク ショップ	Global Caf é	活動のまとめ	

■内 容

□イノベーション探究Ⅲ（7月13日）

3年生普通科グローバルコースの124名が、研究した世界的課題（難民問題、仮想通貨問題、教育問題等）について海外の大学生とディスカッションを行い、新たな価値を創造し、英語で世界に提言

□KYOTO フィールドワーク、課題研究発表会（7月14日・15日）

1・2年生31名が、シンガポール国立大学、復旦大学の6人の学生と京都市内（天龍寺、高台寺、仁和寺等）でフィールドワークを行い、協働研究により発見した「京の智」を英語で世界に発信

□授業参加① 7月12日、1年7組（グローバル科）
2限 グローバル・コミュニケーションⅠ
“Deep Kyoto”をテーマとして、英語で京都の伝統・文化を発信

□授業参加② 7月12日、1年7・8組（グローバル科）
3・4限 総合数学
英語と日本語の数学的概念の定義や表記の違いを学習

□授業参加③ 7月12日、2年7・8組（グローバル科）
5・7限 グローバル・コミュニケーションⅡ
海外の大学生と英語ディベートで真剣勝負
◆テーマ例：難民の受入れ、京都の景観保護 等

□授業参加④ 7月13日、2年7・8組（グローバル科）
1・2限 京都の風土・世界の風土
歴史都市京都のルーツである平安京が中国長安城であることを学び、今後のグローバルな都市のあり方について考察

□授業参加⑤ 7月13日、1年8組（グローバル科）
4限 グローバル・コミュニケーションⅠ（授業参加①と同内容）

□Global Lunch・Global Café
昼食、茶道体験などをとおして異文化理解を深める取組



スーパーグローバルハイスクール
ソーシャル・イノベーションで挑む
グローバル・リーダーの育成

■問い合わせ先 副校長 橋長
担 当 佐藤
TEL 075-672-6788
FAX 075-691-7448